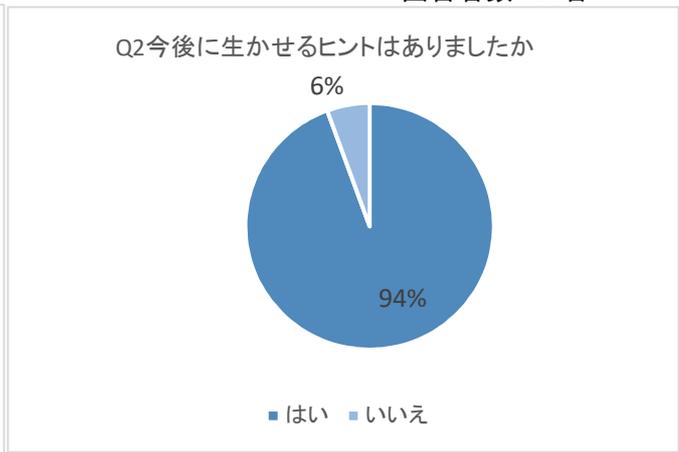
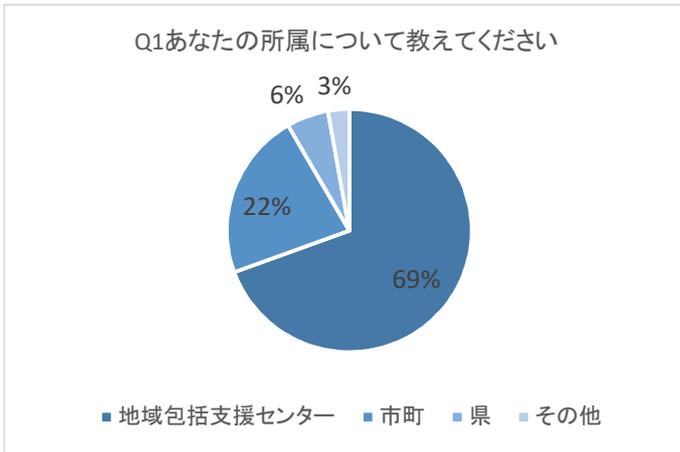


# 令和4年度地域包括ケアシステム評価指標に係る市町情報交換会 アンケート結果

R4年12月22日(木)

回答者数 36名



## Q3 Q2の理由を記入してください

### ○コーディネーター配置の取組

- ・地域住民に生活支援コーディネーターを担ってもらったプロセスや現状について参考になった。
- ・生活支援コーディネーターの活動において、気づくことの必要性、知ってもらう工夫が必要と改めて認識した。地域ケア会議などから地域課題を抽出していくこと、最終的には政策提言につなげることについてはなかなか難しい。医療介護連携においては、当市は協議会を設置し、その部会の中で協議しているが、テーマごとの仕組みを分解して考えることが大切であると理解した。
- ・第2層コーディネーターの設定の取り組みに興味をもった。

### ○医療介護連携の仕組みづくり

- ・医療介護連携の課題の整理や実行の仕方など、考え方もすごく分かりやすかった。
- ・在宅医療介護連携の取組で救急搬送をテーマにした地域ケア会議を開催したり人生会議サポーターを知ることができた。

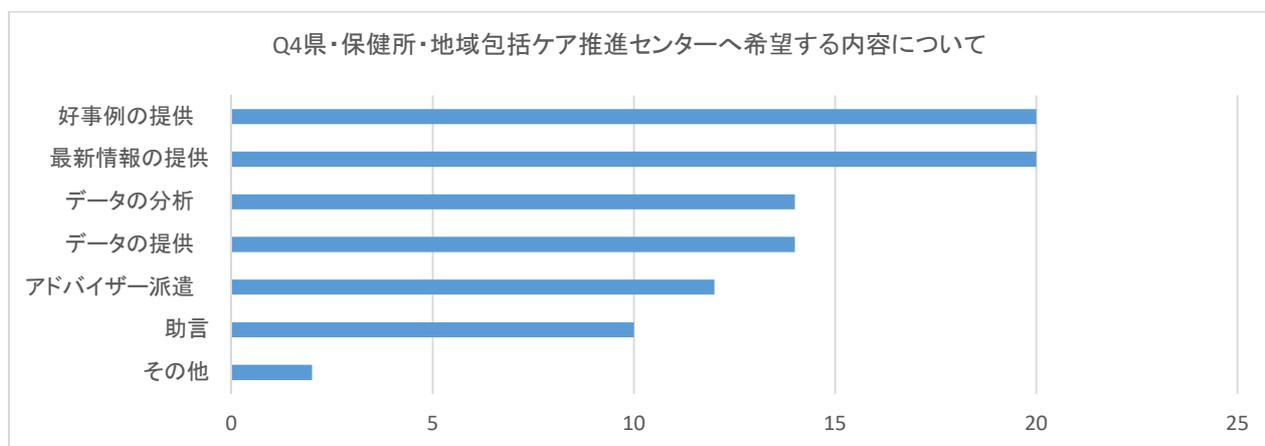
### ○地域づくりについて

- ・地域の方との関係性を築き上げていく方法や具体的な取り組み例から自分たちの地域で立ち上げられるイメージを作ることができた。
- ・地域住民との伴走型支援というお話がとてもイメージつきやすく参考にしたいと思った。
- ・「つながり」「連携」の作り方、主体性の醸成について参考にできる。
- ・住民同士のつながりから互助が始まると思ってはいても、最近では「つながる」ことを望まない世帯も増えてきており難しさを感じていたが、新しい環境になった時こそ「つながり」のチャンスだと捉えることができた。古い公営団地の建て替えが始まるので、住み替えのタイミングが大切な時期だと考えることができた。
- ・百歳体操の立上げ支援には、苦慮しているところもあり、地域の事を知っておられる生活コーディネーターの方に相談している。今後も、繋がるきっかけづくり、つかずはなれずの距離感で継続支援をしていきたいと思った。
- ・廿日市市の五師会への委託事業は、的確な人材を配置して、相談支援室を稼働されており、他の市町にも委託の在り方について参考にしてほしいと思う。

### ○全体

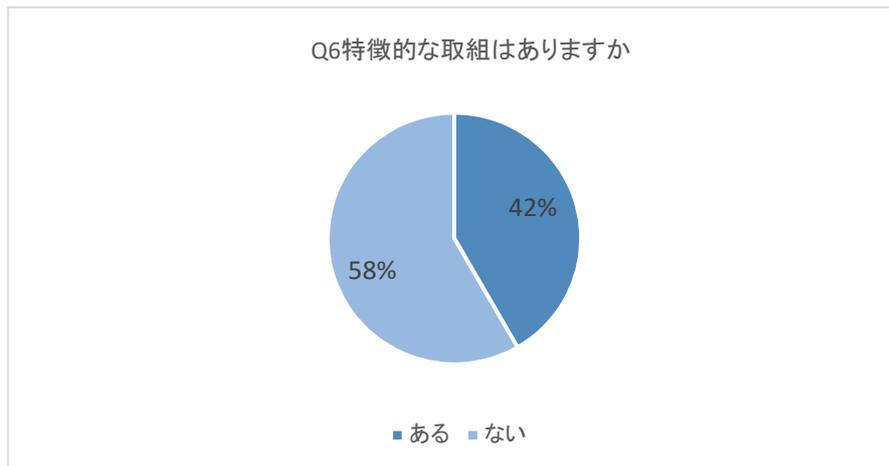
- ・他部署が実施している事業が多かったため(いいえの理由)
- ・生活支援コーディネーターを知ってもらう工夫の仕方や医療介護連携の仕組みづくりが勉強になった。
- ・令和3年度の評価と評価指標では現在の進捗状況を確認することができた。
- ・地域包括支援センターや行政が主導となっていくのではなく、地域住民主体で行う方法、時間などかけなければならないと改めて感じた。
- ・取り組み事例で解り易く説明していただき、3例ともとても参考になった。
- ・自分の圏域でどの様に取り組めるか考えていきたい。
- ・成功事例が当圏域で全て活かされることができないとは承知していても、やはりそのプロセスを学ぶことで、刺激になり励みになり活力になる。市町が異なれば呼称や仕組みにも差異があり、当圏域に置き換えながら聞くことは難しかったですが、押し付けない、待つ姿勢等、念頭に置いて取り組んでいきたい。

- ・取組が具体的で、その時に重きを置いたものが何かも説明して頂き、分かりやすかった。
  - ・地域住民が担う第2層機能の構築、配置することを強制しない。必要性を感じてもらうことは大切なことだと思った。
  - ・他市町の取り組みを聞いて良かった。
  - ・周知啓発を参考に、広報誌や地域だよりを活用する等取り組みたい。
  - ・他地域のことを知ることで、自地区の特徴がわかるから。
  - ・いろいろな市町の取り組みが知れて勉強になった。
  - ・見守り活動の取り組みをしているので、地域への提案をしたい。
  - ・各市町の取り組みを見て包括が取り組めるものを検討していきたい。
  - ・地域に実情にあった取り組み内容だったので、地域課題の抽出し関係者で共有する事が大切だと学んだ。
- 私たちの地域でも課題抽出まではできているが、次のステップへ踏み出せない。scとも定期的に連携もしているがなかなか進まない、医師会の関わりも難しいのが現状。
- ・各市町の取組事例発表を聞いて、今後の活動で地域づくり支援に活かしていきたい。
  - ・プロセスやゴール設定が必要だと感じたため



#### Q5 具体的な内容について記入してください

- ・地域ケア会議の好事例/医療・介護連携の好事例提供/生活支援コーディネーターとして立ち上げに関わった団体の事例/より具体的な好事例
- ・他職種連携の好事例の提供/各市町・地域の取り組み(県外)/研修の情報提供
- ・DX施策への補助。医療・介護連携に関するオンラインでの連携について。
- ・好事例の具体的な流れや苦労されたことも含めた話を聞きたい。
- ・地域の実態に合わせた個別のアドバイスや指導を受けたい。
- ・個別課題から地域課題へ移行していく仕方についての助言。
- ・山間地域における具体的な好事例や担い手の育成方法など
- ・医師会や歯科医師会・薬剤師会など医療の現場の会と連携について。
- ・地域住民が行動変容を起こすことができるような研修会の企画、講師の紹介の支援。
- ・評価項目の変更点
- ・在宅医療介護連携やACP研修等の情報提供
- ・データ分析からの方向性などのアドバイス
- ・介護予防自立支援に向けた生活課題の捉え方や、そこから導く地域課題の捉え方について県推進センターへ相談済。
- ・手詰まりになった時、関係者が大きな視点に立ち返られるよう、より包括的な視点から意見をしてもらうことで拡がる場合があると思うから。
- ・第9期介護保険事業計画の策定に向けて、各市町の介護給付費等のデータ分析、情報共有して、支援に役立てたい。
- ・個別ケースの検討や地域づくりに対する連携



Q7 具体的な内容について記入してください

○「ある」と回答した理由

- ・認知症地域支援員による認知症の相談会の開催
- ・生活支援活動
- ・デジタル化支援の取り組み事例
- ・65歳時到達時の障害者福祉サービスから介護保険サービスへの移行
- ・高齢者見守り支援の見守り隊
- ・自立支援型地域ケア会議を実施
- ・高齢者の孤食の解消。
- ・ラインワークスの活用、住民主体型訪問支援サービス、ケアニン上映会など、模索しながら取り組んでいる。
- ・生活支援コーディネーターによる協議体立ち上げ支援の実施
- ・自立支援型地域ケア会議のオンライン開催
- ・住民どうしの見守り活動の働きかけ